

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東大

上場会社名 コンドーテック株式会社  
 コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菅原 昭  
 (氏名) 安藤 朋也  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6582-8441  
 平成23年11月28日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,607	9.7	901	128.0	940	112.7	513	33.6
23年3月期第2四半期	16,966	—	395	—	442	—	383	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 434百万円 (499.2%) 23年3月期第2四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.58	—
23年3月期第2四半期	29.62	—

(注) 平成23年3月期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	26,038	14,647	56.3
23年3月期	26,194	14,381	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,647百万円 23年3月期 14,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年3月期	—	14.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	13.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の第2四半期末の配当14円には、東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部指定記念配当1円が含まれております。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,655	5.9	1,740	36.4	1,816	32.0	990	18.7	76.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	13,528,500 株	23年3月期	13,528,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	567,288 株	23年3月期	567,211 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	12,961,257 株	23年3月期2Q	12,961,335 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による直接的な被害に加えて、生産活動にも大きな影響が生じました。その後、サプライチェーンの急速な復旧から持ち直しの兆しが見られるものの、原発事故に伴う電力の供給制限や放射能汚染、欧州の金融不安や米国経済の回復の遅れを背景にした円高・株安など懸念すべき問題も多く、先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、被災地域で復興に向けた建築需要も徐々に始まり、首都圏や近畿圏など、全国的に震災後に手控えられていた建築物件も出てきたものと推察されます。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

また、災害復旧や耐震資材を取扱う当社グループとして、震災後の緊急需要や台風による土砂災害・河川の氾濫などの災害復旧需要に、当社グループの総力を結集し順次対応してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,607百万円(前年同期比9.7%増)となりました。利益面につきましては、復興需要による売上増と売上総利益率の改善により、営業利益は901百万円(前年同期比128.0%増)、経常利益は940百万円(前年同期比112.7%増)、四半期純利益は513百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、震災後の応急仮堤防工事や台風による土砂災害・河川の氾濫などの災害復旧向け資材の安定供給に努め、現場用品や仮設足場部材への需要の高まりもあり、当セグメントの売上高は11,220百万円(前年同期比12.8%増)、セグメント利益は630百万円(前年同期比51.9%増)となりました。

#### <鉄構資材>

推定鉄骨需要量は若干の回復基調で推移する状況に押しとどまりましたが、応急仮設住宅向けのターンバックル・ブレースやその関連部材など震災後の緊急需要に順次対応し、学校施設など耐震補強工事の需要の増加もあり、当セグメントの売上高は4,282百万円(前年同期比13.6%増)、セグメント利益は170百万円(前年同期はセグメント損失67百万円)となりました。

#### <電設資材>

東日本大震災後の不透明感から、着工建築物並びに設備投資需要は低調に推移しましたが、地上デジタル放送への完全移行に向けた駆け込み需要や太陽光発電・エコキュートなどの省エネ・環境関連需要を積極的に取込み、当セグメントの売上高は3,104百万円(前年同期比4.4%減)、セグメント利益は41百万円(前年同期比45.0%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(26,194百万円)と比較して155百万円減少し、26,038百万円となりました。これは、商品等たな卸資産の増加や貸倒引当金の減少等を主因として、流動資産が123百万円増加した一方で、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却を主因として固定資産が279百万円減少したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末(11,812百万円)と比較して421百万円減少し、11,391百万円となりました。これは、仕入債務の減少や短期借入金の減少等を主因として、流動負債が441百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(14,381百万円)と比較して266百万円増加し、14,647百万円となりました。これは、四半期純利益513百万円による増加があったものの、剰余金の配当168百万円の支払いによる減少、投資有価証券と為替予約の時価評価に起因したその他の包括利益累計額78百万円の減少等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(54.9%)比、1.4ポイント改善し56.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（3,396百万円）と比較して1,294百万円減少し、2,102百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（158百万円）と比較して193百万円増加し、352百万円の資金を獲得しました。

これは、たな卸資産の増加271百万円、仕入債務の減少263百万円及び法人税等の支払い445百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上939百万円、減価償却費の計上207百万円及び売上債権の減少92百万円等により資金を獲得したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、前年同期に使用した資金（492百万円）と比較して736百万円増加し、1,228百万円の資金を使用しました。

これは、信託受益権の償還95百万円等により資金を獲得した一方で、信託受益権の取得1,256百万円並びに有形固定資産及び無形固定資産の取得67百万円等により資金を使用したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（468百万円）と比較して50百万円減少し、418百万円の資金を使用しました。

これは、短期借入金の純減少額250百万円及び配当金の支払い168百万円等に資金を使用したことによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日付の当社「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を修正しております。修正の内容につきましては、平成23年10月25日付にて開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,396,795	2,102,106
受取手形及び売掛金	9,754,243	9,691,152
商品及び製品	1,866,924	2,167,239
仕掛品	122,877	118,379
原材料及び貯蔵品	351,459	327,111
その他	486,765	1,621,687
貸倒引当金	△104,474	△29,392
流動資産合計	15,874,590	15,998,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,240,799	2,168,344
土地	5,752,189	5,752,189
その他（純額）	643,408	593,068
有形固定資産合計	8,636,397	8,513,602
無形固定資産		
のれん	244,933	214,316
その他	240,435	215,552
無形固定資産合計	485,369	429,869
投資その他の資産		
その他	1,365,786	1,292,817
貸倒引当金	△167,811	△195,737
投資その他の資産合計	1,197,975	1,097,080
固定資産合計	10,319,742	10,040,551
資産合計	26,194,332	26,038,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,573,576	4,177,172
短期借入金	900,000	650,000
未払金	3,299,730	3,420,548
未払法人税等	457,298	443,847
賞与引当金	349,026	392,914
販売促進引当金	—	14,193
災害損失引当金	22,945	10,275
その他	468,954	521,202
流動負債合計	10,071,530	9,630,153
固定負債		
退職給付引当金	1,166,493	1,184,268
役員退職慰労引当金	261,419	266,598
その他	313,194	310,003
固定負債合計	1,741,107	1,760,870
負債合計	11,812,637	11,391,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,328,100	2,328,100
資本剰余金	2,096,170	2,096,170
利益剰余金	11,628,987	11,973,490
自己株式	△498,449	△498,519
株主資本合計	15,554,807	15,899,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390,104	325,731
繰延ヘッジ損益	6,242	△7,701
土地再評価差額金	△1,569,458	△1,569,458
その他の包括利益累計額合計	△1,173,112	△1,251,428
純資産合計	14,381,695	14,647,812
負債純資産合計	26,194,332	26,038,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	16,966,991	18,607,158
売上原価	13,551,678	14,603,714
売上総利益	3,415,312	4,003,443
販売費及び一般管理費	3,019,994	3,102,007
営業利益	395,318	901,436
営業外収益		
受取利息	2,028	2,487
受取配当金	1,124	1,080
仕入割引	54,301	55,855
雑収入	22,825	18,973
営業外収益合計	80,279	78,396
営業外費用		
売上割引	22,487	24,887
支払利息	2,062	1,266
雑損失	9,043	13,445
営業外費用合計	33,593	39,600
経常利益	442,004	940,233
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,164	—
投資有価証券売却益	217,800	—
退職給付制度改定益	40,223	—
固定資産売却益	—	77
特別利益合計	262,187	77
特別損失		
固定資産売却損	—	985
固定資産除却損	3,527	238
投資有価証券評価損	1,223	—
特別損失合計	4,751	1,224
税金等調整前四半期純利益	699,440	939,085
法人税、住民税及び事業税	264,078	433,289
法人税等調整額	51,510	△7,203
法人税等合計	315,589	426,085
少数株主損益調整前四半期純利益	383,851	513,000
四半期純利益	383,851	513,000

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	383,851	513,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△298,853	△64,372
繰延ヘッジ損益	△12,457	△13,944
その他の包括利益合計	△311,310	△78,316
四半期包括利益	72,540	434,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,540	434,683
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	699,440	939,085
減価償却費	224,870	207,989
のれん償却額	30,616	30,616
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,099	△47,156
賞与引当金の増減額(△は減少)	△78,622	43,888
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,882	17,775
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,065	5,179
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△12,669
受取利息及び受取配当金	△3,152	△3,567
支払利息	2,062	1,266
投資有価証券売却損益(△は益)	△217,800	—
固定資産売却損益(△は益)	—	908
固定資産除却損	3,527	238
売上債権の増減額(△は増加)	△97,239	92,845
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,275	△271,469
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,706	△263,689
その他	△12,689	52,294
小計	545,666	793,536
利息及び配当金の受取額	1,351	5,822
利息の支払額	△2,007	△1,216
法人税等の支払額	△386,271	△445,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,739	352,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△123,400	△61,414
無形固定資産の取得による支出	△71,390	△5,760
投資有価証券の売却による収入	218,900	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,503,856	—
信託受益権の取得による支出	—	△1,256,045
信託受益権の償還による収入	976,659	95,477
その他	10,689	△1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△492,397	△1,228,970
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△250,000
自己株式の取得による支出	—	△69
配当金の支払額	△168,571	△168,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,571	△418,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△802,239	△1,294,689
現金及び現金同等物の期首残高	3,234,699	3,396,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432,460	2,102,106

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	9,950	3,770	3,245	16,966	-	16,966
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	37	8	144	△144	-
計	10,048	3,808	3,254	17,111	△144	16,966
セグメント利益又は損失(△)	415	△67	74	422	△27	395

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△27百万円には、のれんの償却額△30百万円が含まれておりま  
す。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	11,220	4,282	3,104	18,607	-	18,607
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	47	31	220	△220	-
計	11,363	4,329	3,135	18,828	△220	18,607
セグメント利益又は損失(△)	630	170	41	842	58	901

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額58百万円には、のれんの償却額△30百万円が含まれております。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。